



南小だより

文責 校長 櫻井

持久走大会 11/27

薄曇り・無風の絶好のコンディションの下、持久走大会を実施しました。低学年は千メートル、中学年は千五百メートル、高学年は二千メートルの距離を走りました。



開会に際して子どもたちには、「競い合う中で自己ベスト更新」を求めました。多くのPTA役員による運営の手助けと保護者の応援の中、体育の授業や業間の体力作りで養ったスピードと持久力の成果を發揮すべく、一人ひとりが精一杯の走りをしていったと思います。今年、低学年の部で十数年ぶりに新記録が出ました。



伸び盛りの小学生にとって持久走は、短距離走に比べ、日々の努力の成果が記録となって現れやすい競技です。「目標をどこに置くか。日々の努力が続けられるか。」持久走以外の場面でも大切なことだと思っと思っています。

町理科研究発表会 11/26

町内四小学校の代表が、小野寺北小の体育館に参集し、理科研究発表を行いました。北小「歯をとかすもの」

南小「SOS世界の海洋

生物を救え」水面の油の性質と油の取り除き方の研究

岩小「空気砲の研究」

静小「硬球が飛ぶひみつ」の順で発表がありました。

参加した児童にとって、発表して終わりではなく、



他校の発表から興味深い題材や研究方法、表現に工夫が見られたものなど、学ぶべきことがたくさんあったと思います。審査の結果、本校五年生の研究発表が岩舟町代表として下都賀地区大会へ参加することになりました。

廃品回収 お世話になりました 12/7

今年初めて取り組んだPTA廃品回収。戸惑いながらの活動を通して、多くの収穫を得ることができました。

収穫その①

初めての取り組み故回収量の見込みが立たず不安を感じていたところ、区長さんから「毎月の資源ゴミ回収の中から持って行ってもいいよ」とか「別にとつていてやっから大丈夫だよ」とか声をかけていただき、またそのようにしていただき、心強く大いに助かりました。

収穫その②

「回収があるから整理していたらこんなものが出てきた」と言って、新品同様の絵本数冊を寄付して下さった三十四年卒

の新里の方。図書室で使わせていただきます。

収穫その③

当日、直接学校へ回収品を届けて下さった地域の方。(回収できない物もあり申し訳ありませんでした)

収穫その④

廃品回収に参加した子どもたちの労働体験と環境意識(自立と共生に絡めて)

収穫その⑤

新聞 四七〇〇kg(二万三千五百円)
段ボール 一五四〇kg(六千六百六十円)
雑誌 一三九〇kg(四千七百八十円)
アルミ缶 一一〇kg(一万五千七百五十円)
これらに消費税を加えた総額五万二千七百円の収益金

多額の浄財を集められただけでなく、子どもたち(学校・PTA)を取り巻く地域の方々力強い支援を実感できたことは大きな収穫であり、喜びでした。
ありがとうございました。



学校評価から

学校の経営改善に役立てるための学校評価。

着任一年目の私は、学校評議員・保護者・児童・教職員それぞれから寄せられた学校評価の集計結果とその分析に大きな関心を持ってこれを進めている。

回収率一〇〇%。保護者の記名率六十六%(他は一〇〇%)。評価回答者数の多い保護者や児童の各評価項目(4点満点)ごとの平均点を見ると、保護者の最高平均値3.8 最低平均値3.3、児童のそれは3.9と3.3。一人ひとりの評価を見ると、高評価の多い人、低評価の多い人とばらつきはあるが、概ね良い評価結果となった。

自由記述欄にも、子どもが学校で楽しく過ごせていることや担任への感謝の言葉が数多く見られた。そうした中で、^{おひとかた}「一方からではあるが、この「校長のつぶやき」に関する批判と子どもを褒めたことを必ず書け」という要望があった。無記名であるこ

校長のつぶやき

とや、その方によれば「みんなが言っている」という書き方をされていたので、この紙面を使って説明したい。

まず、学校だよりは自身や保護者・地域の方々、つまり子どもを取り巻く人的環境にあたる方々に向けたものだということ。学校の教育活動のねらいを知っていただき、協力を請うものです。「子は親(大人)の鏡」子の姿から我々大人は次への行動を考えるべきと思っています。

子どもたちの未来と足下を見つめながら、知的好奇心を刺激したり、自分にもできるという自信をつけさせたり、集団生活の楽しさを味わわせたりできるような学校を目指しています。

最後に、担任の時も校長となった今も、自分が着任した学校をそれまでの勤務先より良くしたいという思いで日々努めていることも知っていただきたいと思います。伝えることの難しさは先月号に書きましたが、ご理解いただけたでしょうか。